

社団法人福岡県サッカー協会 2011年度事業計画書

基本方針

社団法人福岡県サッカー協会は、法人化して8期目の事業年度を迎える。

本シーズンは地元Jクラブであるアビスパ福岡が5シーズンぶりにJ1へ復帰した。福岡県においてJ1、J2、なでしこリーグが展開される。当法人も微力ながらサポートをし、サッカーファミリーの拡大に努める。

また、2011年度に関しても、各カテゴリーにおける事業（大会運営、選手の育成、指導者、審判員の養成など）を中心に、サッカーファミリーの協力を得ながら事業展開を行う。

通常の事業以外で、取り組む事業は下記の通りである。

①「公益法人制度改革」への対応

公益法人制度改革に関しては、2009年度に理事会、常務理事会において議論し、「公益社団法人」として認定を受けるべく準備を進めてきた。

現在、申請資料は一通り完成し、福岡県庁の担当部局の指導を仰ぎながら、資料の修正に取り組んでいる。予定より、時間を要しているが、2011年度に本申請を行い、「公益社団法人」化を目指す。

②福岡フットボールセンターの運営

福岡フットボールセンターの運営に関しては、2010年度は協会事業を中心に活用し、健全な運営が継続できた。昨年度の理事会、総会において承認された更なる施設整備に関しては、2011年度にはクレーコート(Dコート)に天然芝を新設し、施設のステータスを高めるとともに、よりいっそうの公益事業を実施する。

I サッカーの普及及び選手の育成に関する事業

1 サッカー試合の主催、サッカー試合の公式記録の作成に関する事業

別紙 2011年度社団法人福岡県サッカー協会大会開催計画書参照

2 サッカーの技術指導を通じた選手の育成に関する事業

別紙 2011年度福岡県ジュニア選手指導育成事業計画書参照

2011年度福岡県地区別ジュニア選手指導育成事業計画書参照

2011年度女子選手・指導者育成事業計画書

2011年度キッズ普及および選手育成事業計画書参照

3 チームおよび選手の登録に関する事業

3月より、通年実施

4 J F Aからの試合開催の受託に関する事業

随時実施

5 「国民体育大会」「ねんりんピック」のサッカー競技への県代表チームの編成と出場に関する事業

国体＝成年男子・少年男子・女子チームの編成

ねんりんピック＝県代表・福岡市代表・北九州市代表チームの編成

6 チーム・選手・指導者の地域交流に関する事業

福岡県フットボールデーの開催（9月）

7 事業実施に必要な会場の確保に関する事業

施設利用調整会議への出席

8 功労者・優秀選手の表彰に関する事業

該当者がある場合に随時実施

9 その他サッカーの普及に関する事業

福岡県民体育大会サッカー公開競技の受託開催

II 専門技能者の人材を図る事業

1 指導者（コーチ・監督）の育成及び資格認定に関する事業

（1）各種講習会の開催

- ・ 公認キッズリーダー養成講習会
- ・ 公認Dコーチ指導員養成講習会
- ・ 公認Cコーチ指導員養成講習会
- ・ ナショナルトレセン伝達講習会
- ・ 各種指導者講習会
- ・ リフレッシュ研修会

（2）J F Aが実施する指導者育成事業への派遣

- ・ 公認A級及びB級コーチ養成講習会の人選・派遣
- ・ ナショナルトレセン指導者研修会の人選・派遣

- ・ 47都道府県インストラクター養成講習会の人選・派遣
- ・ 全国大会・九州大会などの視察

別紙 2011年度指導者養成及び資格認定講習会実施計画書参照

2011年度技術委員会会議研修会開催計画書・組織図参照

2 審判員の育成及び資格認定に関する事業

(1) 審判資格取得講習会の開催

- ・ 4級審判資格取得講習会
- ・ フットサル審判資格取得講習会
- ・ 3級審判資格試験の実施

(2) 審判員の現地研修、及びJFAが実施する審判育成事業への派遣

- ・ 審判研修会 随時
- ・ 上級審判資格取得者への研修会
- ・ JFA審判研修会派遣
- ・ 各種大会へのインストラクター（審判の個別指導）の派遣
- ・ 各種大会へのアセッサー（判定の評価）の派遣

別紙 2011年度審判委員会事業計画書参照

Ⅲ 「福岡フットボールセンター」の管理運営に関する事業。

適切なメンテナンスの実施による環境整備

事故の防止

Ⅳ 事務局員体制

事務局長・・・山口廣司（事務局常駐）

事務局員・・・小坂恒之（事務局常駐）

事務局員・・・中牟田 晋（福岡フットボールセンター管理事務所常駐）

事務局員・・・梅田知夏（事務局常駐）

※会計処理は平尾事務所に委託